

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	情報 ・ ITリテラシー（学校設定科目）	単位数	3単位	履修学年	3年
目標	<p>1．情報機器やネットワークの仕組みを理解して、情報やデータを取り扱う上で必要となる基本的な知識や能力を習得する。</p> <p>2．情報Aで学んだ基礎をいかし、コンピュータやソフトウェアの操作、データ作成・整理、プログラミング能力などを学習する。</p> <p>3．情報を活用する創造的能力を高めるために、情報手段の特性の理解と目的に応じた適切な選択、ならびに、情報の収集・判断・発信・評価の能力、情報および情報手段・情報技術の役割や影響に対する理解を深めながら情報の取り扱いに関する知識・能力・態度を学習する。</p>				
使用教材	授業担当者の作成した教材を使用				
評価の観点・評価規準	（関心・意欲・態度）	（思考・判断）	（技能・表現）	（知識・理解）	
	情報や情報社会に関心を持ち、問題を解決するために進んで情報および情報技術を活用し、情報社会に主体的に対応しようとする。	情報活用の方法を工夫したり、改善したりするとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断をする。	情報の収集・選択・処理を適切に行うとともに、情報を目的に応じて表現する。	情報および情報技術を活用するための基礎・基本的な知識を身につけるとともに、現代社会における情報の意義や役割を理解している。	
評価方法	<p>1．情報活用の実践力 2．情報の科学的な理解 3．情報社会に参画する態度</p> <p>以上の3点に関して、学習到達度を評価する。</p> <p>主な評価方法について</p> <p>1．知識・理解に関しては定期試験の結果。</p> <p>2．技能については学習過程の中で完成させた「作品」を中心に、制作過程の取り組みを含める。</p> <p>3．態度についてはポートフォリオとレポートをメインに自己評価を利用する。</p> <p>なお、グループワークについては、活動中の個別評価において「観察」ならびに自己評価を重視する。</p> <p>また、高校までの経験の違いを配慮し、生徒の能力に応じた評価をする。</p>				
学期	学習内容	学習のねらい			
1	1．リテラシー1 ～ 知識の向上を図る	1．カリブリアン・KJ法を通じて、問題解決能力の育成をする。			
	2．リテラシー2 ～ 情報の活用と伝達を通じて技術的スキルの向上を図る	2．最新のIT用語、資格「基本情報」より重要な用語を選別して学習。			
2	2．リテラシー2（継続） ～ 情報の活用と伝達を通じて技術的スキルの向上を図る	3．Windowsやアプリケーションソフトのインストール、ネットワークの設定について安全対策を交えて実習をし、コンピュータを主体的に操作できる能力を身につけさせる。			
	3．アルゴリズム ～ 情報の質と信頼性について情報収集力と情報分析力を高める	1．情報活用と伝達について、情報Aで学習した基礎を発展させるためにエクセルを利用し、データを取り扱う手段の特性について理解を深める。			
3	4．課題研究 ～ プレゼンテーションを通じて情報の発信力を育てる	2．データ構造とアルゴリズムに関する知識と技術を、アクセスを通じて学習し、活用する能力と態度を育てる。			
	5．ヘルプデスクに挑戦 ～ コンピュータのエラーに対応できる能力を育てる	1．情報機器の特有な表現や特性などについて理解を深める。また、プレゼンテーション発表において、文字、画像、音など、コミュニケーション手段を含めてメディアを扱う能力を育てる。			
学習上の留意点	情報Aで学習した事をさらに実社会でいかせるためにさらなる利用技術の習得を目指す授業を展開する。				